

**製品名: Lyn (9T13) ウサギモノクローナル抗体****カタログ番号: AMRe13509**

研究使用のみ

**概要**

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	ウサギ IgG（リン酸緩衝生理食塩水、pH 7.4、150mM NaCl、0.02% 新型保存料 N、50% グリセロール含有）。短期保存は+4°C、長期保存は-20°Cで保存してください。凍結融解サイクルは避けてください。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000
分子量	59kDa

**抗原情報**

遺伝子名	LYN Hck 2; JTK8; LYN; LYN proto oncogene, Src family tyrosine kinase; ONCOGENE LYN; p53Lyn;
別名	p56Lyn; Tyrosine protein kinase LYN; Tyrosine-protein kinase Lyn; V yes 1 Yamaguchi sarcoma viral related oncogene homolog; Yamaguchi sarcoma viral (v yes 1) related oncogene homolog;
遺伝子 ID	4067.0
SwissProt ID	P07948

## 背景

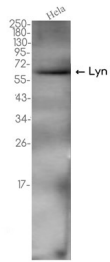
幹細胞増殖因子受容体 (KIT) の発現をダウンレギュレーションします。KIT の発現を制御する EpoR (エリスロポエチン受容体) のエフェクターとして機能し、増殖と成熟の切り替え時に赤血球分化で中心的な役割を果たす可能性があります (類似性による)。細胞表面受容体からのシグナルを伝達し、自然免疫応答と獲得免疫応答、造血、成長因子とサイトカインへの応答、インテグリンシグナル伝達だけでなく、DNA 損傷と遺伝毒性物質への応答の調節に重要な役割を果たす非受容体チロシンタンパク質キナーゼ。主に負の調節因子として機能しますが、状況に応じて活性化因子として機能することもできます。B 細胞応答の開始に必要ですが、そのダウンレギュレーションと終了にも必要です。B 細胞の分化、増殖、生存、アポトーシスの調節に重要な役割を果たし、免疫自己寛容にとって重要です。B 細胞受容体、CD79A、CD79B、CD5、CD19、CD22、FCER1、FCGR2、FCGR1A、TLR2、TLR4 など、いくつかの免疫受容体の下流に作用します。細菌性リポ多糖に対する炎症反応において役割を果たします。造血前駆細胞、血小板、赤血球、および樹状細胞、好中球、好酸球などの成熟骨髄細胞におけるサイトカインおよび成長因子への反応を媒介します。EPOR、KIT、MPL、ケモカイン受容体 CXCR4、および IL3、IL5、CSF2 の受容体の下流に作用します。インテグリンシグナル伝達において重要な役割を果たします。細胞の増殖、生存、分化、遊走、接着、脱顆粒、およびサイトカイン放出を制御します。免疫受容体チロシン阻害モチーフ (ITIM) のリン酸化によってシグナル伝達経路を下方制御します。ITIM は、PTPN6/SHP-1、PTPN11/SHP-2、INPP5D/SHIP-1 などのホスファターゼの結合部位として機能し、これらのホスファターゼはキナーゼとその基質の脱リン酸化によってシグナル伝達を調節します。CD22 の活性化に反応して LIME1 をリン酸化します。BTK、CBL、CD5、CD19、CD72、CD79A、CD79B、CSF2RB、DOK1、HCLS1、LILRB3/PIR-B、MS4A2/FCER1B、SYK、TEC をリン酸化します。SIRPA、PTPN6/SHP-1、PTPN11/SHP-2、INPP5D/SHIP-1 のリン酸化を促進します。BCR-ABL 融合タンパク質のリン酸化を媒介します。FCER1 活性化に応じた FER の急速なリン酸化に必要。KIT リン酸化を媒介する。KIT 発現の制御において EPOR (エリスロポエチン受容体) のエフェクターとして作用し、増殖と成熟の切り替え時に赤血球分化に役割を果たす可能性がある。状況に応じて、いくつかのシグナル伝達カスケードを活性化または阻害する。ホスファチジルイノシトール 3 キナーゼ活性および AKT1 活性化を調節する。MAP2K1/MEK1、MAPK1/ERK2、MAPK3/ERK1、MAPK8/JNK1、および MAPK9/JNK2 の活性化を含む MAP キナーゼシグナル伝達カスケードの活性化を調節する。STAT5A および/または STAT5B の活性化を媒介する。LPXN の「Tyr-72」をリン酸化。キナーゼ活性は、TLR4-TLR6 ヘテロ二量体形成およびシグナル開始を促進する。SCIMP の「Tyr-107」をリン酸化します。これにより、SCIMP と TLR4 の結合が促進され、TLR4 のリン酸化が促進され、マクロファージにおけるリポ多糖に対する選択的なサイトカイン反応が誘導されます (類似性による)。CLNK をリン酸化します (類似性による)。

## 研究分野

シグナル伝達

## 画像データ

Lyn (9T13) ウサギモノクローナル抗体を 1:1000 で使用した HeLa 細胞抽出物のウェスタンブロット分析。



RM5363 を 1:1000 で使用してマウス脳組織抽出物をウェスタンブロット分析しました。

